

電子情報通信



キーワード：生体信号計測，運動解析，福祉機器，計測工学

新しい福祉・リハビリテーション機器の工学的研究

理工学部 電気電子情報工学科 教授

奥野 竜平 OKUNO Ryuhei

研究の内容

生体の知的情報処理・筋運動制御の仕組みを工学の立場から解明し，新しい医療機器，福祉機器の開発を行うとともに，生体システムに関するモデリングとシミュレーションを行っている．具体的には筋電図，脳活動（脳波，NIRS）の計測・解析，パーキンソン病診断支援機器（図1）やペグボードなどの診断支援機器，筋電義手（図2）や障害者・高齢者用電子福祉楽器（図3）等の福祉・リハビリテーション機器の開発を行っています．



図1 パーキンソン病筋トーン診断支援システム



図2 バイオミメティック筋電義手



図3 バリアフリー電子楽器「サイミス」

産学連携・社会連携へのアピールポイント

当研究室では、生体信号の計測や解析，運動機能の解析を行っており、それを元にした福祉機器、リハビリテーション機器等の開発を行っています。興味がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

医用生体工学研究室

URL : https://www.setsunan.ac.jp/~ele/laboratory/laboratory_okuno.html

